

日米戦没者慰霊式(1)

USAF, Japan Honors Fallen

June 27, 2019

By Senior Airman Gabrielle Spalding
374th Airlift Wing Public Affairs

しずはたやま
(写真1) 6月22日、静岡県しずはたやまの賤機山山頂(静岡市・浅間神社境内)で
営まれた第47回「B-29日米合同慰霊祭」で、日米の国旗とアメリカ空
軍旗を掲揚する横田基地の儀仗隊。



1

(写真2) 鎮魂のトランペットを奏でる太平洋空軍音楽隊トランペット奏
者デイビッド・ウッチャー軍曹。

1972年から毎年、横田基地の空兵と静岡市民やその他関係者達が
B-29日米合同慰霊祭に集い、第二次世界大戦の静岡空襲の犠牲者
と空中衝突して墜落死したB-29の搭乗員を追悼し、祈りを捧げている。



2

(写真3) 米軍代表の言葉を述べる第374空輸航空団副司令官ジェイ
ソン・ミルズ大佐。

ミルズ大佐は、最初の合同慰霊祭から築いてきた日米の固い絆、そし
て犠牲となった人々を思い起こすこと、続いてきた平和を守るため絶え
ず働きかけることの大切さについて触れた。



3

日米戦没者慰霊式(2) USAF, Japan Honors Fallen

June 27, 2019

By Senior Airman Gabrielle Spalding
374th Airlift Wing Public Affairs

しずはたやま
(写真4) 6月22日、静岡県しずはたやまの賤機山山頂(静岡市・浅間神社境内)で営まれた第47回「B-29日米合同慰霊祭」で、B-29墜落搭乗員の慰霊碑にバーボンを献酒する横田基地の空兵。

バーボンは、墜落時に搭乗員が握りしめていた手形が残る黒焦げの水筒に入れられ、旅立った仲間と交わす酒として慰霊碑に注がれた。



4

(写真5) 慰霊碑の前で焼香をする慰霊祭主催者の医師・菅野寛也氏(左)と第374空輸航空団副司令官ジェイソン・ミルズ大佐(右)。

第二次世界大戦の静岡空襲で犠牲となった市民と墜落死したB-29搭乗員に、花、お香、祈りが捧げられた。



5

(写真6) ハナミズキに献水する第36空輸中隊司令カタレア・カールソン中佐。

100年以上前、日本は友好の印として米国に3,000本の桜の苗木を贈り、2012年に米国が返礼として日本に同じ数のハナミズキの苗木を贈った。この式典の場所に、それらの2本が植えられている。



6